

第4回農業の労働環境改善に向けた政策の在り方に関する検討会  
(農業現場の働き方(労務管理)に関するヒアリング資料)

## みっちゃん工房の働き方改革

---

株式会社みっちゃん工房  
代表取締役社長 光永 カオリ

# 株式会社みっちゃん工房の概要

■ **会社名**：株式会社みっちゃん工房

■ **所在地**：熊本県益城町

■ **取締役社長**：光永 カオリ

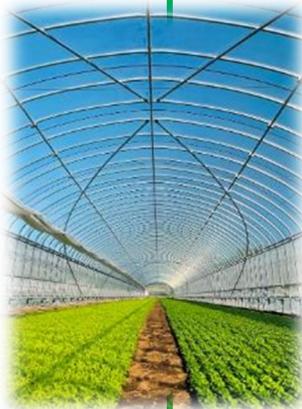
## ■ 経営の概要

- ・品目 ベビーリーフ 3 ha
- ・販売書運営（サラダ野菜等の販売）
- ・GAP令和7年度取組予定

## ■ 雇用等の状況

- ・役員 1名
- ・正社員 9名（うち女性5名）  
⇒50代1名、40代1名、30代3名、20代4名
- ・パート・アルバイト 4名（うち女性4名）
- ・外国人労働者 6名  
（うち女性5名うち1名育休中）

所在地：熊本県益城町  
(株)みっちゃん工房



# 雇用環境に関する基礎情報

## ■就業規則：あり

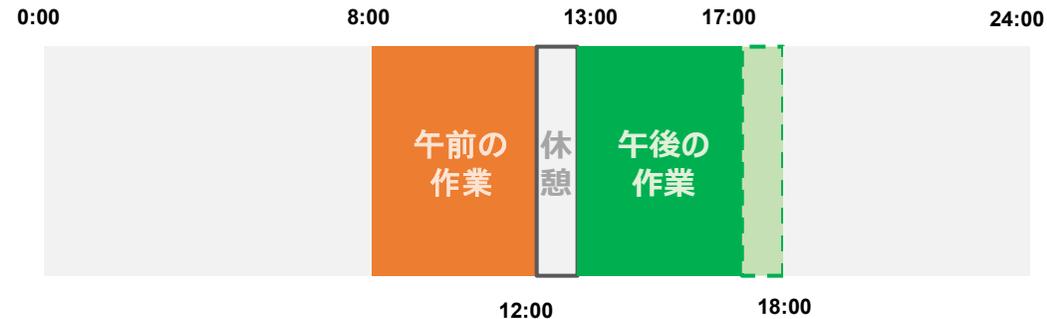
- ・2004年雇用を開始。社労士と相談しながら就業規則を策定。
- ・時短勤務の就業規則はまだ作成できていないものの、試行的に1年間時短勤務に取り組んでおり、随時見直しをする予定。

## ■就業時間等

- ・基本は8時から17時。子育てがある方は早く帰る。育休明けの方は時短勤務。
- ・1人あたり労働時間は、平成30年2,400時間から令和5年には2,171時間に短縮
- ・季節によって収穫時間を変更している。昔は従業員が高齢だったため時間変更はしなかったが、今の若い従業員は、一定（8時から17時）がいいので調整。
- ・冬は、暖くなるまで工場内で勤務し、その後外で作業。
- ・休日は週2日（日曜定休）で従業員同士で相談。
- ・有給は忙しくない時期（3～5月）に積極的に取得してもらっている。
- ・人材管理は紙の時間表を作ってお互いに管理

## ■従業員のタイムスケジュール

### <農繁期・農閑期共通>



農繁期には時間外労働が1時間程度発生  
(就業時間は農閑期と同様とし、残業手当を支給)

**休日：年間100日**

**【農閑期：11～4月、6～8月】**

**完全週休2日、シフト制、年末年始**

# 就労条件に関する内容

## ■ 人材育成

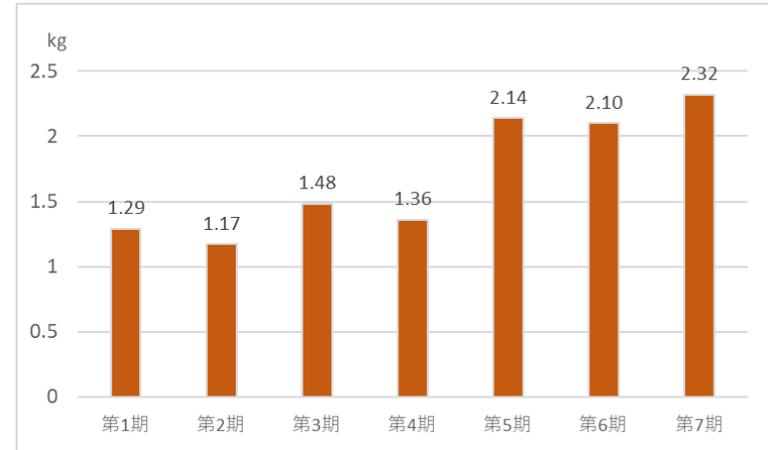
- ・従業員に地元銀行のビジネス講座を受講させたり、資格取得にかかる費用は会社で負担
- ・新卒の新入社員には、3年前からビジネス能力検定2級の資格を持つ従業員が週1回3か月間、社会人に対する職業教育やキャリアアップの講習
- ・外国人従業員には、技能実習生時代より毎週1時間、勤務終了後、希望者への日本語学習の時間を設けて、電話応対などの研修を行っている。
- ・自動車免許を日本語で取得することもできた従業員や受発注の仕事や請求書作成などもできるようになり、スキルアップによる昇給につながった従業員もいる。

## ■ 女性が働きやすい環境づくり

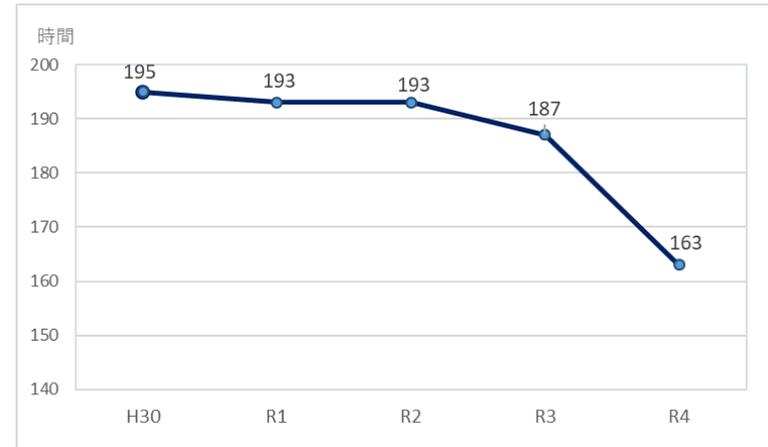
- ・男女別トイレ、個別ロッカーあり
- ・更衣室は必要に応じて休憩室を使用



平成30年と令和4年で業績を比較すると、  
総労働時間は**11%減少**し、売上は**134%増加**



1時間当たりの生産量



1人当たりの月平均労働時間

# 従業員の定着率向上のための取組内容

## 働き方改革を制度化 2010年～2023年までに14項目を規程

### ■ 福利厚生

- ・「産休育休支援」
  - ・「退職金共済への加入」
  - ・「パートを含む健康診断の実施」
  - ・「完全週休2日制の導入」
  - ・「有給休暇100%取得目標」
  - ・「独自の生命保険と傷害保険加入」
- などを次々に導入

令和6年度より育休明けの従業員に対して時短勤務を導入。結婚を控えている男性従業員には今後パパ育休の取得を推進している。

- |             |  |             |                              |
|-------------|--|-------------|------------------------------|
| 1. 2010年4月  | 従業員に合わせた休日の設定  | 7. 2019年8月  | 完全週休2日制導入                    |
| 2. 2010年12月 | 雇用保険への加入<br>育休取得の導入  | 8. 2020年4月  | コロナ禍での休憩室の開放、職業体験            |
| 3. 2011年7月  | 正社員の退職金共済への加入  | 9. 2020年5月  | 全従業員の有給消化100%目標を掲げる、AT車の導入   |
| 4. 2015年9月  | 新工場の建設、休憩室の開放  | 10. 2021年9月 | 男女別のシャワールーム設置                |
| 5. 2016年10月 | パート従業員の退職金共済加入   | 11. 2022年4月 | 完全週休2日制の導入                   |
| 6. 2019年4月  | 子どもの看護休業、介護休業を規程<br>パートを含む全従業員の健康診断<br>全従業員に会社独自の生命保険、<br>傷害保険加入 | 12. 2022年7月 | SDGs 勉強会を実施                  |
|             |  | 13. 2022年5月 | 外国人従業員とのより良い意思疎通のための通訳を雇用    |
|             |  | 14. 2023年1月 | 有給休暇の取得推進<br>隔月おきに有給休暇取得を義務付 |

### ■ 生産性向上

#### 作業スピード

#### の目安を掲示

【作業時間目安】	
・野菜の選別 (1体あたり)	綺麗なとき:1分 汚いとき:3分
・袋つめ (1コンテナ)	小袋(25こ)、大袋(20こ):4分
・段ボール作り	30分～1時間半
・シーラー	ベルトコンベヤーに3個のるスピード
・機械上 (1体あたり)	2～3分

### ■ 現在の雇用環境の整備に至る経緯

パートとして働いていた従業員が妊娠出産を機に退職したいと申し出があった。個人事業主時代で、雇用保険に加入していなかった。従業員に退職して欲しくない思いと、従業員の出産してからの生活を考え、雇用保険に加入し育休手当の申請をした。